

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	22-046	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
<p>Would the Brazilian population support the alcohol policies recommended by the World Health Organization?</p> <p>ブラジルの人々は、WHO が推奨するアルコール政策を支持するだろうか？</p>		
<b>執筆者</b>		
De Boni RB, Mota JC, Coutinho C, Bastos FI.		
<b>掲載誌</b>		
Rev Saude Publica. 2022 Jul 4;56:66. doi: 10.11606/s1518-8787.2022056004093.		
<b>キーワード</b>	<b>PMID</b>	
飲酒、予防とコントロール、公共政策、世論、ブラジル	35792799	
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b>世界保健機関が提唱するアルコールの害を減らすための政策（具体的には、アルコールの入手可能性と広告の減少、価格設定の増加など）に対するブラジル国民の支持を評価し、これらの政策に反対する要因を明らかにすることを目的とした。</p> <p><b>方法：</b>第3回ブラジル薬物使用に関する世帯調査（BHSU-3）でインタビューした12歳から65歳のブラジル人16,273名のデータを分析した。BHSU-3は、2015年に実施された全国規模の確率的サンプリングに基づく調査である。各対象者に、以下に示すグループ化された7つのアルコール政策について反対、中立、賛成のいずれかを尋ねた。1) アルコール販売規制の強化：「アルコール販売店を減らす」「営業時間を制限する」「アルコール販売免許を導入する」2) アルコールの広告、スポンサー、宣伝の禁止や制限を実施する：「広告規制政策」「スポーツスポンサーの禁止政策」3) 物品税や価格設定によってアルコールの価格を上げる：「増税政策」、「価格の上昇政策」。一般化線形モデルを用いて、それぞれの政策に反対であること、およびすべての政策に反対であることの関連要因を評価した。</p> <p><b>結果：</b>全体として、28%のブラジル人が上記のすべての政策に賛成し、16%が反対していた。賛成率が最も高かったのは広告規制（53%）、最も低かったのは値上げ（40%）であった。すべての政策に反対する要因は、男性であること[調整オッズ比(AOR) = 1.1; 95%CI: 1.0-1.3], 宗教を持っていないこと (AOR = 1.4; 95%CI: 1.1-1.8), カトリック教徒であること (AOR = 1.3; 95%CI: 1.1-1.5), アルコール依存症 (AOR = 1.6; 95%CI: 1.1-2.4) であることが示された。</p> <p><b>結論：</b>ブラジル政府はアルコール広告を制限する対策には、多くの国民の支持を期待することができる。アルコール産業のロビー活動や巧みなマーケティング戦略へ対抗するには、こうした情報が重要である。</p>		